

発 刊 の 辞

私たち上田女子短期大学国語研究倶楽部・日本語教育研究会は、姉妹クラブとして共に多くのことを学びながら、活動しています。

今年度の学園祭「第20回学海祭」では、“信州の言葉と文学”をテーマに、信州の方言土産についての調査結果を発表すると共に、学外から講師の先生をお招きして、信州を舞台にした近代文学に関するたいへん有益なお話をうかがいました。準備段階からの活動を通じ、日常使う方言を改めて見つめ直したり、今まで聞いたことのなかった方言にふれたりして、日頃忘れていた言葉のあたたかさを感じ取ることができました。

国語研究倶楽部では、主に方言を取り上げて活動していますが、今後もさまざまな角度から方言について考え、より一層興味を深めていきたいと思っています。

いっぽう、日本語教育研究会でも、日本語教育に関する懇話会が催され、私たちも、日本語教育に関係されている方々の貴重なお話を聞くことができました。

私たちは、両クラブの顧問である大橋敦夫先生のご指導のもと、これからも実りある活動をしていきたいと思っています。そして、毎年活動成果を記録する意味も含めて、このような論文集を刊行することにしました。もちろん、私たちの力だけで出来上がったものではありません。多くの方々のご協力があったからこそです。改めて、厚く御礼申しあげます。

平成6年3月

上田女子短期大学 国語研究倶楽部

平成6年度 部長 大石 愛